

シルバー の あ た み

2024 第54号



会員互助会バス旅行 深大寺 2023.10.25

新年あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

公益社団法人熱海市シルバー人材センター



新年のごあいさつ

理事長 柳下 輝治



新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆さまにおかれましては、
健やかに新年を迎えられたことと
お慶び申し上げます。

平素は当センターの事業推進に
対しまして、格別の深いご理解と
ご協力をいただき厚くお礼申し上
げます。

さて、厚生労働省が公表してい
る「令和四年簡易生命表」による
と、日本人の平均寿命は、男性が
八一・〇五年、女性が八七・〇九年
となっております。この数字は現在
0歳の新生児の平均ですので、既
に無事六十歳を超えた皆さんは更

に長寿ということになります。

今後も男女とも平均寿命は延び
続け、この先百歳まで生きられる
時代、つまり人生百年時代が当た
り前になると考えられています。

こうした中、誰もが生涯現役で
活躍できる社会の実現が求められ
ており、高齢者が年齢に関わりな
く、その能力を十分に発揮し、地
域社会の活性化のために貢献して
いくためにも、シルバー人材セン
ターの果たす役割は、なお一層大
きなものとなっています。

高齢期に働き続けることについ
ては「それまで十分に働いてきた
から、あとはゆっくりしたい」と
いうような引退を歓迎する考えか
ら、「働けるうちはいつまでも働い
ていたい」というような考えもあ
り人それぞれです。

ただ、一つ明らかなのは人生百
年時代において、六十五歳や七十
歳で引退すると、そこから三十年
近い人生が残っていることになり
ます。「高齢期Ⅱ引退」というのは
過去の時代の事であって、現在は
「通過点」に過ぎないと考えること

が自然なのではないでしょうか。

話が変わりますが、昨年就業中
の会員が死亡する痛ましい事故が
発生しました。また、就業中では
ありませんが、転倒事故で亡くな
る事案も発生いたしました。お亡
くなりになった方のご冥福を心よ
りお祈りいたします。

センターといたしましても、事
故ゼロを目指して安全パトロール
等を実施していますが、残念なが
ら一寸した気のゆるみなどで事故
は発生いたします。「安全はすべて
に優先する」を基本として、各自
十分に気を配って就業に就き、ご
自身のお体を大切にいただき
たいと思います。また、健康面で
も積極的に健診等を受診され、体
調管理に十分留意していただくよ
うお願いいたします。

最後になりますが、皆様にとつ
て令和六年という年がより良い年
となりますよう祈念して私の挨拶
といたします。
本年もどうぞよろしく願いま
します。

新年のごあいさつ

会員互助会 会長 多田 信夫

新年あけましておめでとうござ
います。

互助会員の皆様におかれまして
は、新春を清々しい気持ちでお迎
えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年五月に新型コロナウイルス
の五類に移行し、社会活動も
徐々に正常になってきました。

会員互助会でも令和元年を最後
に、実に三年間コロナの影響で見
合わせきた会員バス旅行を四年ぶ
りに催行しました。秋晴れの深大
寺・高尾山方面に、会員の皆さん
で行ってまいりました。

ただ、残念だったのは、四十人
の募集に対し、申し込まれた会員
が三十人に留まったことです。
久しぶりの旅行だったことなど
もあり、参加者が少なかったのか
もしれませんが、今後互助会の行
事があるときは、ぜひ皆さんの積
極的な参加をお待ちしています。

新年のごあいさつ 「伊豆山土石流災害から の復旧・復興と地域経 済の更なる活性化」

熱海市長 齊藤 栄



明けましておめでとうござい
ます。会員の皆様におかれましては、
清々しく新春をお迎えのことと心
よりお慶び申し上げます。

さて、昨年はスポーツの分野で
熱海の若手が活躍いたしました。
七月には熱海中学校出身の熱海富
士関が大相撲名古屋場所において
優勝決定戦を制し十両優勝を飾る
と、秋場所と九州場所所で二場所連
続の優勝争いを演じました。両場
所とも、惜しくも敗れ、賜杯を逃
しましたが、熱海富士の名前は全

国に知れわたりました。

また、泉中学校出身の鈴木芽吹
さんが昨年一月の箱根駅伝に三年
連続で出場し、優勝に大きく貢献
しました。そして最終学年で駒澤
大学陸上競技部主将として挑んだ
十月の出雲駅伝、十一月の全日本
大学駅伝で優勝するなど、目覚ま
しい活躍を見せております。この
二人の熱海出身の若者が全国で活
躍する姿は、市民の皆様にとくさ
んの元氣と希望をもたらしてくれ
ました。

そして、昨年、私は、「伊豆山土
石流災害からの復旧・復興」と
「コロナ禍等からの力強い経済再
生」を重要テーマに掲げ、取り組
んでまいりました。

昨年九月には、伊豆山の被災地域
における災害対策基本法第六十三
条に基づく警戒区域が解除され、
被災された方々の帰還が始まりま
した。被災された方々が現地に戻
り生活を再開させるためには、河
川・道路の整備、被災宅地の復旧
など、これからも取り組むべき課
題が多くありますが、被災者の皆

様のお声をしっかりとお聴きしなが
ら、着実に復旧・復興の歩みを進
めてまいります。

また、昨年五月には、新型コロナ
ウイルス感染症が二類相当から
五類へと、感染症法上の位置づけ
が変わり、行動制限が大幅に緩和
されました。観光地熱海としては、
多くの観光客にお越しいただき、
総じて賑わいのあつた一年であり
ました。

今後は、この流れを確実なもの
にするとともに、平日のビジネス
利用やインバウンドの誘客の促進
など、熱海観光の新たな市場を開
拓してまいります。

新年におきましては、引き続き、
「伊豆山土石流災害からの復旧・復
興」と「地域経済の更なる活性化」
に最優先で取り組んでまいります。
また、中長期的な視点で熱海市が
持続的に発展する仕組みづくりを
目指した「熱海2030ビジョン」
の実現にも取り組み、教育、福祉、
環境などの分野に関する施策の充
実を図り、「熱海に住んで良かつ
た」「熱海に移り住みたい」と思っ

ていただけるまちづくりを進めて
まいります。

皆様におかれましては、市政に
対するご理解とご協力をよろしく
お願い申し上げます。新年が皆様、
そして熱海市にとりまして素晴ら
しい年になることを祈念申し上げ、
新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

熱海市議会議長

川口 健



新年あけましておめでとうござ
います。

熱海市議会を代表し、謹んで新
年のご挨拶を申し上げます。

柳下理事長をはじめ会員の皆様
におかれましては、日頃より「自
主・自立・共働・共助」の理念の
下、市民福祉の向上に多大なご尽
力を賜っておりますことに深く敬
意を表するとともに、心より感謝
を申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界中
で地域紛争が繰り返され、現在も
その状況は続いており、ロシアが
ウクライナへ侵攻して始まった戦
争は既に一年十カ月にも及びます。

このような行為は国際平和と秩序
を脅かすものであり、断じて許す
ことはできません。一刻も早く世
界平和が訪れることを切に願って
おります。

こうした国際情勢の中でありま
したが、静岡県が昨年の「東アジ
ア文化都市」に選定された一年で
もありません。年間を通して日中
韓三か国の文化交流事業が県内各
地で開催されました。

本市におきましても、十月には
「東アジア文化都市2030 in熱
海」が開催され、熱海芸妓衆が
「華の舞」を韓国の全州交流団と
共演するなど、両地域間の友好親
善が図られました。

本市ではこうした貴重な機会を
捉えることで、この国家的プロ
ジェクトの根幹に込められた世界
平和への想いを深めるとともに、
人と文化の交流が大いに進んだ一
年となりました。

他方、本市では経済対策として、
生活支援と事業継続を後押しする
ための生活応援クーポンの販売や、
交流人口などの拡大に向けたJT

Bとの包括連携協定の締結、イン
バウンド誘致に向けた台湾旅行展
への出展など、アフターコロナの
反転攻勢が進められました。若い
世代を中心とした観光客が戻り、
観光地熱海の賑わいを取り戻しつ
つあると感じた一年でもありまし
た。

大変明るいニュースも届きまし
た。大相撲二場所連続で優勝争い
を繰り広げた熱海富士関や、泉小
中学校出身で駒澤大学陸上競技部
主将の鈴木芽吹選手の活躍は、私
たち市民に大きな感動をもたらし
てくれました。

今年は、伊豆山土石流災害から
の復興を引き続き最優先で進める
一方、観光ではインバウンド戦略
としての新たな観光コンテンツの
造成や、糸川あたみ桜ライトアッ
プに合わせたイベント展開など、
大きく期待のできる施策が進もう
としています。また、地域づくり
の分野では旧網代小学校の地域拠
点としての整備が進められており、
活力ある地域共生社会の実現に向
けた動きが期待されます。

しかしながら、そのような状況
の中におきましても、本市では人
口減少と少子化・高齢化の加速に
より、大変厳しい状況が続いてお
ります。そのような中であつて、
皆様のお一人おひとりが、心身と
もに健康で、互いに支え合う地域
づくりが求められております。そ
のためには、会員の皆様がこれま
で培われた知識や経験を十二分に
発揮されてご活躍されることは、
本市の一層の発展のために必要不
可欠であります。

市議会といたしましても、小さ
なお子様からご高齢の方まで全て
の市民の皆様が、誰もが暮らしや
すいまちづくりに向けて、より一
層の努力をして参ります。

結びに、今年一年の会員の皆様
の健康とご多幸を心より願ひ、新
年のご挨拶といたします。



辰 年会員からのコメント

く干支の年を迎えてく

毎年恒例となっている干支の年を迎えた会員の皆さんにコメントをいただきました。原稿をお寄せいただきました皆様ありがとうございました。

鈴木 弘之

熱海に移住して早四十五年、七十歳にして前職を離れ、二〇一〇年八月、シルバーに入会、駐車場管理が希望でしたので、九月からセイフー駐車場に従事し、二〇一四年に閉店、その後、熱海城、梅園、市役所等の駐車場管理を行い、ついでに、お客様の車ナンバーを言葉に変える、たとえば、二二一五九（フサゴケ）五六一五六（ゴロゴロ）九六一四六（黒白）など、頭の中で数字を言葉に変えることをしながら仕事に従事しています。

宮治 節子

干支（辰年）を迎えて振り返りますと、二〇一〇年に熱海へ移り住み、縁あって二〇一二

年五月にシルバー会員になりました。干支の六十歳を迎えた年でした。そして、一身上の都合により二〇二四年三月を以って退会することになり、偶然にも干支を一巡したことになりました。残念ではありますが一区切りという思いでおります。

周りを見渡しますと、先輩方が生き生きと頑張っている姿を見て、今日まで続けて来られた自負があります。

時系列にたどりますと、二〇一二年「夏期間東海岸ロッカー施設管理業務」、二〇一三年四月「二〇一八年三月「福祉センター」、二〇一八年四月「二〇二二年三月「中山晋平記念館」、二〇二二年四月「二〇二三年一〇月「福祉センター」と、切れ目なく業務に就くことが出来たことに感謝しております。

何よりも、会員の仲間に恵まれたこと、接客業務での人との関わりの難しさ、楽しさを学んだことは人生の糧となっております。今後は市民としてお世話になる立場になります。いつも感謝の気持ち

ちを忘れずにいたいと思います。最後にシルバー人材センターのスタッフ、関わったすべての方々に御礼申し上げます。

横田 昌彦

昭和十五年生まれ、辰年を迎え毎日楽しく人との話を心掛け、元気に過ごしています。

熱海市に移住し早二十三年になります。日頃梅園が好きで散歩している時、妻からシルバーの話聞き、数日後説明会を受けました。入会後新しい職場を紹介されたのが「梅園内の中山晋平記念館」でした。先輩にご指導いただき、館内案内と説明等、勉強したことを今でも覚えています。

岩沢 清

シルバーで働き早二十年になります。体力が続く限り人生楽しく笑顔忘れず今年もがんばります。調理補助の仕事があると声をかけて頂いたのが二十年位前でした。台所仕事の好きな私は即答でお願いしたのがシルバーでの初仕事でした。病院での仕事とはどんな感じかとわくわくドキドキ!!初めは洗いや盛付の手伝いでした。料

理をするようになってからは三人の栄養士さんと五人のスタッフさんに教えて頂きながらでした。

野菜の切り方一つでも、家庭と違い失敗続きでした。五分粥（術後）の人、おかずにトマトの種一つでも命取りになると、すごく怒られたときもありました。皆さんに支えて頂きながら楽しく十年お世話になりました。辞める時には送別会までして頂きました。

色々な仕事をさせていただきましたが、その都度うれしい出逢いがたくさんあり楽しく過ごさせて頂きました。自分が歳を重ねて、病院での事が懐かしくとつても役に立っております。今は毎日主人と一時間の散歩を楽しんでおります。また、月三回のすみれ会で皆さんにお逢いして切り絵をしたり、おしゃべりに花を咲かせて、とても楽しい時間を過ごしています。感謝

橋本 輝子

神奈川県から熱海に移住して五年になりました。前に住んでいた所でもシルバー様にお世話になっていましたので、こちらに来て直ぐ

シルバー様に行き、お仕事させていただきますました。

お蔭様で毎日元気に働かせていただきます事、心より感謝致しております。今は熱海駅前で掃除、足湯等をさせていただいております。朝起きて行く所がありますのは大変ありがたい思っています。

駅前はいつも賑やかで、色々なお客様がいらつしゃいます。熱海にお越しくださったお客様に、楽しくお過ごしいただけますよう笑顔と言葉遣いに十分気を付けて頑張りたいと思います。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

森田美佐子

熱海に移住して十二年。シルバー人材センターに入会して九年が経ちました。現在は小中学校保全員の仕事に就いています。小中合わせて六十名程の生徒さん達です。最初はどんな仕事をするのか不安もありましたが、生徒さんから「いつもおそうじありがとうございます」「きれいにしてくれてありがとう」などと、ただただしくも可愛らしい声でことばを掛けてくれる。そんな掛け声を聞きます

と、「ああやって良かった」と気持ちも晴れやかに、仕事の励みにもなります。これからも明るい生徒さん達との出会いを大切にしていきたい。その為にも健康には留意して今年も頑張っていきたいと思っています。

大瀨 榮子

故郷の別府を離れ、息子と一緒に千葉で四年間過ごしましたが、「六十代、まだまだ独りで元気に過ごしたい!!」と、思い切って別府に似ていて以前から気になっていた熱海の駅近高台の物件を購入しました。

海から登る初日の出も見下ろせる、見晴らしの良い場所での気ままな独り暮らしのスタートでした。シルバーに入って約二十年。楽しく仕事をさせて頂きました。特に駅前足湯管理では仲間にも恵まれ、仕事を抜きに皆で色々な所に旅行に行ったりと、楽しい思い出がいっぱいです。

☆その他の辰年生まれの皆さん
片桐武・土屋哲男・中村祐子
武内淳・遠藤さかゑ・菅田政雄
澤田英之・水野澄枝・表峰子
石井栄子・成瀬健治・吉田洋子
室伏幸雄・武田礼子（敬称略）

新年のごあいさつ

公園緑地課長 杉村 知志

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、関係の皆様の多大なるご尽力のもと、多くの会員の皆様のご活躍され、高齢者福祉の増進、地域社会の活性化に大きな役割を果たされしておりますことに、心から感謝を申し上げます。

また、会員の皆様におかれましては、熱海梅園等の都市公園や熱海駅前家康の湯をはじめとする多くの観光施設の維持管理に御尽力いただき、改めまして感謝申し上げます。

さて、公園緑地課では観光施設の維持管理とあわせ、花によるまちづくりを推進しているところでございます。一月から多くの観光客でにぎわう梅園の梅や、五月下旬より国道沿いを彩るジャカランダなど、皆様の協力により多くの方に愛され親しまれておりますが、さらなる魅力向上と「変化し続ける温泉観光地 熱海」実現にむけ、梅園のリニューアルやジャカランダ遊歩道の植栽変更などを計画しており、現在は、そのための準備期間として樹勢回復を重点的に実施しているところでございます。

これからも末永く、市民の皆様や観光客の方々に愛されるよう、花のまちづくりの推進や観光施設を管理していくうえにおきまして、貴センター及び会員の皆様のご協力は重要なこととなりますので、今後ともご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の御多幸と貴センターの益々の御発展を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

配分金と確定申告について

・確定申告の際必要となる「配分金支払証明書」について

令和5年中に就業のあった方全員に「配分金支払証明書」を1月中旬にお送りします。 なお、配分金支払証明書には、令和5年12月就業分の配分金が含まれています。これは、年内にその金額を支払いしていませんが、収入が確定しているためです。

・派遣で就業された方について

派遣でお仕事をされた方には、静岡県シルバー人材センター連合会より「源泉徴収票」が届きます。派遣で得た収入は「給与所得」となります。

確定申告についてのお問い合わせは直接税務署へ

明けまして
おめでとうございます
本年もよろしく
お願いいたします

局長	坂本 信夫	事務局長	室野 昭光	業務委員会	佐藤 貞男	広報委員会	林 弘志	安全委員会	丸山 文雄	常務理事	坂本 信夫	監事	樋口 民樹	理事	大竹 順子	副理事長	横田 昌彦	理事	柳下 輝治
職員	飯尾 由香	局長	石井喜久男	局長	坂本 信夫	局長	山田 亮子	局長	飯尾 由香	局長	石井喜久男	局長	坂本 信夫	局長	山田 亮子	局長	飯尾 由香	局長	石井喜久男

謹賀新年

会員互助会役員

会長	多田 信夫	幹事	露木 友子	監査	青木登志男	幹事	佐藤 貞男	監査	雲野 政明
副会長	横田 昌彦	幹事	岩沢 清	監査	雲野 政明	幹事	露木 友子	監査	青木登志男

賛助会員

法人

- ・富士伊豆農業協同組合
- ・熱海温泉ホテル旅館協同組合
- ・熱海後楽園ホテル
- ・熱海市観光協会
- ・共栄火災海上保険(株)
- ・(株)ニコ

個人

- ・吉田 年男
 - ・西島 義勝
 - ・伊勢井 勝
 - ・藤間 勝夫
- (敬称略)

新入会員のご紹介

令和5年7月～11月入会者(敬称略)

井上 哲夫	高杉 康則	北村 純子	石井 明光	山中 一成	今岡 廣子	笹原 千鶴	小野寺 圭子	菅原 義知	松村 良夫	石井 栄子	和田このみ	荒巻 弘祐	福澤 伸	福澤 麗子	成田 京子	矢野 恵美子	菅田 政雄	吉田 勝己
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-------	-------

シルバーあたま第五十四号
発行 令和六年一月
公益社団法人 熱海市シルバー人材センター
熱海中央町一番一号
電話 ○五五七―八一―九三〇一